

義を貫くために出陣！藩主自ら脱藩した「最後の大名」

まぶねじんやいし
真武根陣屋遺址



江戸幕府の譜代大名であった林家（請
西藩）の陣屋の址です。林家は1万石の大名
で、代々若年寄など幕府の要職を務める家柄で
した。陣屋は林播磨守忠旭によって嘉永3年
（1850）に造営され、慶応4年/明治元年
（1868）戊辰戦争の勃発に伴い新政府軍へ抵抗
するために、藩主林昌之助忠崇は不退転の決意
により自ら陣屋を焼き払って出陣したといわれ
ています。現在でも当時の土塁が残っています。

市指定文化財：記念物（史跡）
指定年月日：昭和41年4月22日
所在地：木更津市請西 1139-33
所有者：木更津市
員数：39㎡
公開・非公開の別：公開
